



## 平成23年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月10日

上場取引所 福

上場会社名 トラストパーク株式会社  
コード番号 3235 URL <http://www.trustpark.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 靖司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 矢羽田 弘

TEL 092-437-8944

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年6月期第1四半期の連結業績(平成22年7月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第1四半期	2,738	129.0	438	—	420	—	222	—
22年6月期第1四半期	1,195	11.2	23	166.9	15	132.4	△10	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第1四半期	25,074.93	24,479.81
22年6月期第1四半期	△1,176.10	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第1四半期	5,441	738	13.6	83,163.58
22年6月期	4,465	526	11.8	59,288.69

(参考) 自己資本 23年6月期第1四半期 738百万円 22年6月期 526百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	—	1,200.00	—	1,200.00	2,400.00
23年6月期	—	—	—	—	—
23年6月期(予想)	—	4,100.00	—	4,100.00	8,200.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年6月期の連結業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,200	75.6	500	—	470	—	300	—	33,764.77
通期	7,000	32.4	660	220.1	600	279.6	360	499.7	40,517.72

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年6月期1Q 8,885株 22年6月期 8,885株

② 期末自己株式数 23年6月期1Q 一株 22年6月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年6月期1Q 8,885株 22年6月期1Q 8,885株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、景気対策等の効果もあり企業業績が一部回復に向かいつつあるものの、円高の進行・株安傾向等により先行き不透明な状況のまま推移しました。また、国内のデフレ傾向は変わらず、雇用情勢や所得環境の悪化懸念等により個人消費も復調せず、依然として厳しい状況が続きました。

当社グループが属する駐車場業界におきましては、駐車場の稼働状況は回復基調にはありますが、まだ需要が完全に回復するまでには至っておらず、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは主力の駐車場事業において、引き続き新規駐車場の開発に注力した結果、当第1四半期末の駐車場数は前年同期より72ヶ所増の507ヶ所、車室数は3,469ヶ所増の22,670車室となりました。これに加え、平成22年9月に全株式を取得し子会社化した株式会社グランシップが管理を行う駐車場を合わせると計602ヶ所、23,592車室となりました。

既存駐車場におきましては、引き続きカード会員拡大、タイムリーな駐車料金改定、駐車場賃借料の見直し、不採算駐車場からの撤退等収益力向上にも注力してまいりました。

不動産等事業におきましては、鹿児島県薩摩川内市にて開発を行ってまいりました73戸の新築マンション「トラスト川内カルディオ」が平成22年7月に竣工し、65戸の引渡しをいたしました。

以上の結果、売上高は2,738,108千円（前年同期比129.0%増）、営業利益は438,913千円（前年同期は営業利益23,237千円）、経常利益は420,984千円（前年同期は経常利益15,962千円）、四半期純利益は222,790千円（前年同期は四半期純損失10,449千円）となりました。

セグメントの業績については、以下の通りであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。これによる事業区分に与える影響は軽微なため、前年同期比較を行っております。

#### ①駐車場事業

継続的に行ってまいりました収益力の高い新規駐車場開発の強化、カード会員拡大及び駐車場賃借料をはじめとする駐車場原価の見直し等による既存駐車場の収益力向上、不採算駐車場からの撤退等の効果もあり、売上高は1,286,653千円（前年同期比9.6%増）、営業利益は102,712千円（前年同期比79.9%増）となりました。売上高の内訳は、直営店方式1,069,907千円（前年同期比9.5%増）、加盟店方式155,929千円（前年同期比14.6%増）、管理受託方式44,842千円（前年同期比4.7%減）、機械販売等15,975千円（前年同期比23.9%増）となりました。

#### ②不動産等事業

駐車場を中心とした不動産売買仲介事業の他、広島県廿日市市におけるマンション販売及び鹿児島県薩摩川内市内にて開発を行ってまいりました73戸の新築マンション「トラスト川内カルディオ」が平成22年7月に竣工し65戸の引渡し等を行った結果、売上高は1,451,455千円（前年同期は757千円の売上高）、営業利益は336,201千円（前年同期は16,148千円の営業損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 1. 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して521,708千円増加し、2,790,915千円となりました。これは主として、現金及び預金の増加1,032,489千円、仕掛販売用不動産の減少418,464千円、前払費用の減少24,250千円等によるものであります。

##### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比較して453,668千円増加し、2,650,129千円となりました。これは主として、新規直営駐車場等の設備投資による有形固定資産の増加135,513千円、株式の取得等によるのれんの増加301,624千円等によるものであります。

##### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して234,916千円増加し、2,400,273千円となりました。これは主として、買掛金の増加558,972千円、短期借入金の減少265,600千円、1年内返済予定の長期借入金の減少193,808千円、未払法人税等の増加90,900千円等によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末と比較して528,331千円増加し、2,301,862千円となりました。これは主として、長期借入金の増加404,605千円、月極駐車場契約者からの預り敷金の増加9,335千円、退職給付引当金の増加1,829千円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して212,128千円増加し、738,908千円となりました。これは主として、四半期純利益の計上222,790千円及び配当金の支払10,662千円によるものであります。

2. キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較し1,025,681千円増加し、1,801,295千円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により取得した資金は、1,437,367千円(前年同期は39,893千円の取得)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益404,249千円を計上したことのほか、駐車場設備等の減価償却費26,416千円及び売上債権の減少11,542千円、たな卸資産の減少400,954千円、仕入債務の増加555,994千円並びに前払費用の減少47,329千円による増加等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、213,097千円(前年同期は98,373千円の使用)となりました。これは主に新規駐車場設備に係る有形固定資産の取得による支出35,517千円、定期預金の預入による支出5,909千円、新規駐車場に係る敷金の差入による支出4,198千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出167,600千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、198,587千円(前年同期は108,667千円の取得)となりました。これは主に短期借入れによる収入225,000千円と短期借入金の返済による支出490,600千円、長期借入れによる収入430,000千円と長期借入金の返済による支出346,720千円、配当金の支払額9,687千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年6月期の通期の業績予想につきましては、平成22年8月9日に公表いたしました「平成22年6月期決算短信」における業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第1四半期連結会計期間より、新たに株式会社グランシップの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

なお、平成22年9月30日をみなし取得日としたため、当第1四半期連結会計期間は、四半期貸借対照表のみを連結し、四半期損益計算書は連結しておりません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③繰延税金資産の回収可能性の判断

前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計方針の変更

①資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ1,754千円、税金等調整前四半期純利益は、17,432千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は15,997千円であります。

②企業結合に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

2. 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

- ① 前第1四半期連結会計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「受取補償金」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため、当第1四半期連結会計期間より区分掲記することとしました。なお、前第1四半期連結会計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「受取補償金」は200千円であります。
- ② 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,873,620	841,131
受取手形及び売掛金	119,088	130,631
有価証券	12,033	12,032
販売用不動産	156,438	138,194
仕掛販売用不動産	339,208	757,672
仕掛品	—	47
原材料及び貯蔵品	—	687
前払費用	244,241	268,491
その他	48,462	122,886
貸倒引当金	△2,178	△2,567
流動資産合計	2,790,915	2,269,207
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,439,957	1,438,566
その他(純額)	523,673	389,550
有形固定資産合計	1,963,630	1,828,117
無形固定資産		
のれん	360,550	58,926
その他	17,027	20,197
無形固定資産合計	377,578	79,123
投資その他の資産		
その他	310,197	290,505
貸倒引当金	△1,277	△1,284
投資その他の資産合計	308,920	289,220
固定資産合計	2,650,129	2,196,461
資産合計	5,441,044	4,465,668

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	612,759	53,787
短期借入金	770,000	1,035,600
1年内返済予定の長期借入金	341,072	534,880
未払法人税等	154,198	63,298
賞与引当金	9,000	—
ポイント引当金	24,763	25,069
資産除去債務	230	—
その他	488,250	452,723
流動負債合計	2,400,273	2,165,357
固定負債		
長期借入金	1,960,693	1,556,088
退職給付引当金	9,372	7,543
資産除去債務	24,137	—
その他	307,659	209,899
固定負債合計	2,301,862	1,773,530
負債合計	4,702,136	3,938,888
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	333,500	333,500
資本剰余金	104,000	104,000
利益剰余金	301,406	89,277
株主資本合計	738,906	526,777
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	2
評価・換算差額等合計	1	2
純資産合計	738,908	526,780
負債純資産合計	5,441,044	4,465,668



(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,195,622	2,738,108
売上原価	971,093	2,009,656
売上総利益	224,529	728,452
販売費及び一般管理費	201,292	289,538
営業利益	23,237	438,913
営業外収益		
受取利息	117	156
受取配当金	3	1
受取保険金	905	20
受取補償金	—	3,007
その他	490	732
営業外収益合計	1,516	3,917
営業外費用		
支払利息	6,118	14,178
支払手数料	1,737	6,000
その他	936	1,668
営業外費用合計	8,792	21,847
経常利益	15,962	420,984
特別損失		
固定資産売却損	—	611
ゴルフ会員権売却損	276	—
精算機開発中止損失	3,445	—
減損損失	—	444
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15,678
特別損失合計	3,721	16,734
税金等調整前四半期純利益	12,240	404,249
法人税、住民税及び事業税	18,883	149,500
法人税等調整額	3,806	31,958
法人税等合計	22,690	181,458
少数株主損益調整前四半期純利益	—	222,790
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,449	222,790

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	12,240	404,249
減価償却費	23,793	26,416
減損損失	—	444
のれん償却額	—	3,801
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△538	△395
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	9,000
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	989	△306
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,011	1,829
受取利息及び受取配当金	△121	△158
支払利息	6,118	14,178
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	611
固定資産除却損	695	1,636
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15,678
売上債権の増減額 (△は増加)	13,323	11,542
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5	400,954
仕入債務の増減額 (△は減少)	△17,592	555,994
前払費用の増減額 (△は増加)	△31,215	47,329
その他	40,896	11,553
小計	49,606	1,504,361
利息及び配当金の受取額	121	158
利息の支払額	△6,200	△14,606
法人税等の支払額	△3,633	△52,545
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,893	1,437,367
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,900	△5,909
有形固定資産の取得による支出	△33,674	△35,517
無形固定資産の取得による支出	△1,495	△468
有形固定資産の売却による収入	—	860
貸付けによる支出	△500	—
貸付金の回収による収入	221	686
敷金の差入による支出	△52,886	△4,198
敷金の回収による収入	1,147	137
資産除去債務の履行による支出	—	△998
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△167,600
その他	△285	△90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,373	△213,097

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600,000	225,000
短期借入金の返済による支出	△800,000	△490,600
長期借入れによる収入	360,000	430,000
長期借入金の返済による支出	△32,464	△346,720
割賦債務の返済による支出	△1,495	△1,032
社債の償還による支出	△5,000	—
リース債務の返済による支出	△2,443	△5,547
配当金の支払額	△9,928	△9,687
財務活動によるキャッシュ・フロー	108,667	△198,587
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	50,188	1,025,681
現金及び現金同等物の期首残高	697,635	775,614
現金及び現金同等物の四半期末残高	747,823	1,801,295

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)

	駐車場事業 (千円)	CG制作 事業 (千円)	不動産等 事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,173,574	9,870	757	11,420	1,195,622	—	1,195,622
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	981	—	—	—	981	(981)	—
計	1,174,556	9,870	757	11,420	1,196,604	(981)	1,195,622
営業利益又は営業損失(△)	57,109	432	△16,148	△18,156	23,237	—	23,237

1 事業の区分の方法

事業は、役務の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 事業区分の追加

前第3四半期連結会計期間において、ピー・エム・トラスト株式会社を設立し、飲食サービス店舗の運営を開始したことにより「飲食事業」セグメントを新たに追加しております。

3 各事業区分の主な内容

- (1) 駐車場事業・・・駐車場の運営及び駐車場の管理受託に関する事業
- (2) CG制作事業・・・コンピュータグラフィックスの制作販売に関する事業
- (3) 不動産等事業・・・不動産の売買、仲介及び賃貸並びにこれらに付随する事業
- (4) 飲食事業・・・飲食サービス店舗の運営及びこれらに付随する事業

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、駐車場の運営及び駐車場の管理受託に関する業務を主とした「駐車場事業」と、駐車場を中心とした不動産売買仲介業務の他、マンション開発業務等の「不動産等事業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年7月1日至平成22年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益損益計算書計上額 (注)
	駐車場事業	不動産等事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,286,653	1,451,455	2,738,108	—	2,738,108
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,286,653	1,451,455	2,738,108	—	2,738,108
セグメント利益	102,712	336,201	438,913	—	438,913

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「駐車場事業」セグメントにおいて、株式会社グランシップからの事業譲受け及び新たに連結子会社とした株式会社グランシップの株式取得に伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、304,225千円であります。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。